

福山市立大学 地域と大学 第4回

みなさん、あけましておめでとうございます。福山市立大学で地域連携推進の仕事をしているカクです。今回は、本学教育学部の教員による研究発表会「学術の日2023」について紹介します。

今年で2回目の開催となる「学術の日」。今回は「どうつながる？現場と児童教育学」をテーマに、さまざまな研究発表が行われました。連携担当として、こうした学内イベントは見逃せません。私は「データサイエンスと教育学部の学び」という発表を聴講し、プログラミング教育についてはまだまだ現場の先生方の悩みが尽きないことがわかりました。

20うん年前に小学校を卒業した私

(Windows98世代)からすれば、今の小学生が必修でプログラミングを学んでいることにいまだに驚いてしまいます。小学生がデータサイエンスに興味を持ってくれるような取り組みなど、興味深い内容が盛りだくさんでした。



このように教育学部の教員は、小学校や特別支援学校などで現場の先生と連携しながら子どもたちの教育に関わり、地域の人材育成に力を注いでいます。将来、子どもたちが地域で活躍してくれるのを楽しみにしています。

●地域連携レポート

あけましておめでとうございます。同じく連携担当の伊藤です。

福山市立大学の教員や学生は、地域をフィールドに多彩な活動を繰り広げています。そこで今回は、「山野暮らしと古民家研究会(DOFY・岡辺研究室)」の学生有志による、福山市山野町での取り組みについて紹介したいと思います。

DOFYの活動内容は、山野町にある古民家の改修、蕎麦の栽培、イベント出展など多岐に渡ります。古民家改修の際には市内企業様と、蕎麦の栽培では福山市立福山高等学校様となど、地域の人々と協働しながら活動しているのが特徴です。



2022年に取り組んだ古民家改修の様子

2023年11月26日には、山野町を盛り立てるイベント「おやまのいんどり秋市」に参加しました。このイベントは山野町において春秋恒例のイベントとなっており、アウトドアを楽しもうという体験、飲食、雑貨、音楽などたくさんのブースの出展が



おやまのいんどり秋市にて

ト・団子汁・蕎麦がきの提供を行いました。遊具では子どもたちの笑い声が響き、蕎麦がきやガレットは香りや味で参加者を楽しませていました。今後の活動にも注目です！

ありました。DOFYのみなさんは、古民家改修の際の廃材を利用した木材を利用した遊具と、栽培している蕎麦で作られたガレット・団子汁・蕎麦がきの提供を行いました。遊具では子どもたちの笑い声が響き、蕎麦がきやガレットは香りや味で参加者を楽しませていました。今後の活動にも注目です！



FUKUYAMA CITY UNIVERSITY

福山市立大学

教育学部、都市経営学部の2学部で構成される公立の4年制大学。自治体や地域社会、地元企業との連携を深め、持続可能なまちづくりに寄与する人材の育成をめざしている。

【問い合わせ先】

福山市立大学 事務局総務課 連携担当
☎ 084-999-1112 ✉ soumu@fcu.ac.jp



研究シーズ集